

第4段階：ガリラヤにおける大宣教
J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
デイリー・ジーザス・ニュース #126

6. 奇跡その24：イエスはもう一人の盲人を癒す
マルコ8.22-26

22 Mベツサイダに着くと、人々は盲人を連れて来て、イエスに触れてくださるようにと懇願した。23 イエスはその盲人の手を取って村の外に連れて行き、その両目につばきを吐きかけ、両手を置いてから、こう言われた。

22-

「何か見えますか？」

24 彼は顔を上げて言いました。「人が見えますよ。木が歩いているように見えますよ。」

25 イエスはもう一度、その人の目に両手を置きました。すると、彼の目は開かれ、視力は回復し、すべてがはっきりと見えるようになりました。

26 イエスは彼に命じて家に帰らせた。 「立ち入らないで村です。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、 **イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ベツサイダ
タイムライン	5月～6月（27月または28月）
イエスの生涯の文脈	第4段階：ガリラヤにおける大宣教
	J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
タイトル	6. 奇跡その24：イエスはもう一人の盲人を癒す

コメント：

イエスと十二使徒は、ガリラヤ湖の北約65キロに位置する異邦人の町、カイサリア・ピリピに向かいました。イエスがガリラヤから撤退するのはこれで二度目です。彼らはベツサイダ村の近くまで来る途中、おそらくそこで旅の食料を調達しようとしたのでしょう。町の人々はイエスに気づき、盲人を癒してもらうため

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

に連れて来ました。彼らは失望することはありませんでした。この癒やしの奇跡には、いくつか注目すべき点があります。

まず、マルコはこの癒しについて記した唯一の福音書記者です。次に、これはイエスが唾を使って癒しを行った3回のうちの2回目です。今日では奇妙に思えるかもしれませんが、イエスの時代には、長子の唾には癒しの力があると一般的に考えられていました。イエスは奇跡を行う際に聖霊以外の力に頼ることはしませんでした。唾を用いたことは、イエスの働きを受ける人々の信仰を強め、イエスに何かを期待させるものだったでしょう。それは、イエスが彼らを癒そうとしていることを示しました。特に目の見えない人にとって、唾の音と感触は強い印象を残したことでしょう。

この奇跡の最も珍しい点は、イエスがそれを二段階に分けて行ったことです。イエスに瞬時に治癒を行うだけの力がなかったわけではありません。この奇跡が二段階に分かれていることは、実はその真正さを強力に証明しています。なぜでしょうか？

見る能力は、私たちの肉体的能力と精神的能力を組み合わせたものです。目、神経、そして脳は、私たちが「光」と呼ぶ光子に物理的なプロセスで反応します。見るためには、こうした物理的な装置すべてが完全な状態でなければなりません。イエスの癒しの第一段階は、この物理的なハードウェアを再び完全な状態に回復させました。しかし、視覚という精神的・心理的側面も不可欠です。

光子によって引き起こされる神経刺激を脳で処理したことがない人は、脳に押し寄せる新たな情報に対処できなくなります。脳内で「見える」ようになった物体のイメージと、まだ目が見えなかった頃に想像していたイメージの違いに、混乱してしまうのです。手術によって初めて視力を取り戻した患者は、脳が受け取る情報を整理できないという精神的な混乱を訴えています。イエスが癒した人のように、彼らは人々を「歩き回る木々のように」見るでしょう。

イエスは、視力には肉体的な側面だけでなく、精神的な側面もあることを知っていました。だからこそ、イエスはその男に視力の状態を尋ねたのです。男が視力の問題があると訴えると、イエスは超自然的な力で彼の脳を再プログラムし、長時間の調整なしにデータを理解できるようにしました。イエスは男を完全に癒す方法を知っていました。そして、現代医学では到底及ばない知識と知恵をもってそれを成し遂げました。人々の心を瞬時に再プログラム」できるのは神だけです。

最後に、マルコがこの奇跡を記していることが、イエスの宣教におけるこの特定の時期の出来事の流れに完璧に合致していることに注目しましょう。イエスはパリサイ人とサドカイ人の霊的な盲目を叱責しました。そして弟子たちに、「あなたたちも目があるのに見えないのか」と尋ねたばかりでした。この物理的な奇跡は、イエスが「世の光」であり、肉体と霊の両方の視力を与える方であることを明らかにしました。弟子たちはイエスからのさらなる霊的な視力を必要としていました。

応用：

1世紀には、見るという能力が肉体的なプロセスであると同時に、精神的・心理的なプロセスでもあることを理解していた人は誰もいませんでした。科学と医学がそこまで発展するには、さらに1900年かかりまし

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

た。イエスのこの二段階の治癒の奇跡は、マルコがそれを書いた当時は理解できなかった方法で、この記述の真実性を証明しています。彼は、まだ1900年も先の未来に起こった科学の洞察を予見することはできなかったでしょう。彼はただ、起こったことを報告しただけなのです。

福音書に記録されているイエスの言葉と行いはすべて真実かつ正確な記録です。この福音書は、四福音書の信頼性について独自の洞察を与えてくれます。

今日、あなたが真実であるがゆえに頼る必要のあるイエスの約束、教え、または命令とは何でしょうか。

あなたの人生のどの部分をはっきりと見るためにイエスからのさらなる光が必要ですか？